

International Workshop on Space Combustion Research

-Toward Sustainable Platforms for Lunar Exploration and Broader Applications-

日時:2026 年 9 月 11 日(金) (日本標準時)

※本プログラムは現時点での予定であり、今後変更となる場合があります

時間	プログラム
10:00-10:15	オープニング
10:15-11:20	第一部:微小重力環境を利用した燃焼研究の成果と将来展望 ・ <u>火災安全性研究</u> 基調講演① 基調講演② ・ <u>液体・気体の燃焼研究</u> 基調講演③ 基調講演④ ・ <u>パネルディスカッション</u> 「微小重力燃焼研究から得られた知見と今後の展望」
11:20-11:30	休憩
11:30-12:30	第二部:月面重力環境における燃焼現象 ・ 基調講演⑤「有人月探査に向けた火災安全性の課題と挑戦」 ・ 基調講演⑥「有人宇宙探査を支える研究基盤:米国の今後の LEO 利用戦略」 ・ <u>パネルディスカッション</u> 「月面重力環境での燃焼:持続的な月面活動に向けた研究開発課題と LEO 利用の方向性」
12:30-13:20	昼食休憩
13:20-14:05	第三部(日本語セッション):宇宙実験×AI が牽引する燃焼技術革新の展望 ・ 基調講演⑦「宇宙実験と AI を活用した高精度燃焼モデル構築への挑戦」 ・ <u>パネルディスカッション</u> 「AI 時代の燃焼研究における宇宙実験の価値とは？」
14:05-15:00	第四部:燃焼研究のブレークスルーに向けて —研究基盤としての LEO の役割と国際連携— ・ 燃焼研究基盤としての CLD:SCEM を活用した JAXA の LEO 利用構想 ・ 欧州の燃焼研究基盤:多様な短時間実験手段と LEO の連携 ・ <u>パネルディスカッション</u> 「燃焼研究のブレークスルーに向けた LEO 研究基盤の役割と国際連携」
15:00-15:20	休憩
15:20-15:45	クロージング

主催:

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

有人宇宙技術部門 宇宙環境利用推進センター